家庭の味で地域に協力

さん美食会

▲ワインぶどう祭りでふらのワインを使ったザンギを提供するメンバー

山部地域で行われるイベント会場を中心に、来場者などに手づくりの家庭料理を提供している、さん美食会（山本礼子代表）。山部商工会の女性部ＯＢ４人で活動し、山部地域の「食」を提供するイベントには、なくてはならない存在となっています。

生涯学習センターで行われていたクリエーターズマーケットで手作りの料理を来場者に振る舞ったことをきっかけにグループとして活動を開始。平成24年６月に設立された山部@まるごと体験村で、メンバーが講師として手作りプリンを指導するなど、活動の幅が広がる中で、美女が３人という意味で、さん美食会が誕生しました。

会では、毎年１月に行われる山部の新年交礼会をはじめ、山部地域で行われる行事など、ほぼ毎月のように「食」を通じて協力。「スタッフのお弁当を作ったりと、いつの間にかみんなから声をかけられるようになりました。メンバーはみんなお祭り事が大好きで、私たち自身も楽しんでいるから、朝早くから料理を作ることもぜんぜん苦にならないです」と山本代表は話します。「和食の家庭料理なら、何でも作ります」と、会では料理のメニューはみんなで話し合って決め、旬の野菜や、山部地域の食材をできるだけ使うようにしているそうです。

▲「山部を食す会」で提供されたさん美食会のメニュー

また、ＮＰＯ法人山部まちおこしネットワークと連携し、過去には山部ドライブインで行われた高齢者対象のサロンで、自慢の手料理を振る舞ったさん美食会。「参加された人たちは、すごく喜んで食べてくれました。また機会があれば作りたいと思います」と山本代表は振り返ります。

10月には、山部Walls（ウォールズ）が企画するハロウィンパーティーに、かぼちゃなどを使った料理で協力するさん美食会。「私たちは高齢なので、これからは若い人たちにも頑張ってほしいと思います。休日に協力することが多いので、ボランティア精神が大切になると思いますが、私たちもできる限り若い人たちとともに地域を盛り上げていきたい」と、これからも会として家庭料理を通じて地域に協力していきます。

▲サロンで高齢者に振る舞われたランチ